



せとまちだより

SETOMACHI-COMMUNITY NO30

令和4年5月25日(水)
瀬戸地域まちづくり協議会
香岐市芦辺町箱崎大左右触924
080-8574-5853
発行責任者 町田 正一

瀬戸地域の皆様へ (就任挨拶)

会長 町田 正一

このたび前田会長の後を継いで、二代目の会長に就任いたしました。まちづくり協議会の役員、又、瀬戸浦の皆様には、よろしくご協力をお願いいたします。瀬戸のまち協は、地域の問題をできるだけ自分達で考え、解決していこうという方針で、市内でもいち早く結成されました。前田会長、原田支援員のご努力により、コロナ禍にあっても順調に活動していただきました。

さて、昨年度は、瀬戸小学校の新入生は、大幅に増加しました。香岐市でも瀬戸小だけです。校歌にある「少弐のはまれ受けつゝ瀬戸」です。今後は、地域の人達が、より安心して生活できる環境、子どもたちが元気に地域にとけこんでいけるように、瀬戸浦々会、瀬戸小、漁協等と協力して活動していきたいと思います。また、いつまでも市の補助金だけに頼る事なく自主事業を考えていかねばならないと思います。瀬戸の皆様方にはいろいろご協力をお願いする事もあると思います。よろしくをお願いいたします。



令和4年度 事業計画・収支予算が決定しました！！

令和4年度運営委員会（総会）を開催するように準備していましたが、市内における新型コロナウイルス感染者の増加により、70名ほどの人を集めるのは無理との判断で、書面議決を行うことにしました、その結果、令和4年度事業計画及び予算につきましては、賛成多数で議決されました。

令和4年度 交付金は昨年と同様、基礎額 1,732,000円 保全額 300,000円
合計 2,173,000円 と 地域活性化事業 150,000円 となります。

事業につきましては、コロナ禍でもあり一同に人が多く集まることはできませんが、昨年度同様、環境美化や広報（せとまちだよりや掲示板活用）活動を始め、地域防災等についても取組んでいきたいと思っています。その他、過去の写真につきましても、提供いただけるものがありましたら、よろしくお願いします。データーにしたら、すぐ返却いたします。また、写真掲載につきましてもご理解・ご協力をお願いします。

信用部駐車場横花壇



瀬戸ハーパークラブの活動で花も咲き、見違えるようにスッキリとなりました

お知らせ 5月13日は、前会長 前田清信氏の四十九日でした。ご家族から、瀬戸浦々会及び瀬戸地域まちづくり協議会に、各々、金一封をいただきましたので、お知らせします。今後、それぞれの活動に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

はじめまして 地域の安全安心のためご協力をお願いします！



箱崎駐在所に赴任してきた、山口幸一郎（32才）です。

空き巣被害を防止するため、ちょっとした外出でも戸締りの徹底、をお願いします。

不審電話、不審者情報などがあれば、気兼ねなく駐在所等最寄りの警察にご連絡下さい。

まもなく梅雨時期となるので、防災準備・避難先の確認、をお願いします。

(写真を1枚に、気軽に応じていただきました。)

5月の空に「こいのぼり」

協議会委員の発案で、ドレミ♪ドレミガーデン横の大左右川に、こいのぼりを設置しました。

大風で降ろしたり、綱に巻き付いたり、緋鯉はどこかへ行ってしまふようなアクシデントはありましたが、規模は大きくなくて、ささやかに毎年、継続していけたらと思っています。御協力いただいた皆さんありがとうございました。



今月のSDGs

11 住み続けられるまちづくりを
すべての人が安全で住みやすい家や水、電気など必要なサービスを得られるまちや地域社会にすることを目指している。

17のSDGs開発目標
SDGsキーワードは
「だれ一人取り残さない」



高田 昊 さん

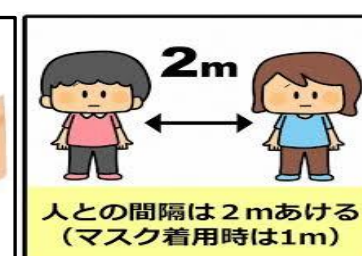


小島柊聖 さん

14 海の豊かさを守ろう
海の汚染を減らすことや、海の環境を破壊する違法な漁業をなくして海の資源を持続可能に利用できることを目指している。



土谷連汰朗 さん



発熱等の症状が出たら、かかりつけ医等身近な医療機関に
電話をしましょう

「歌集 山もも」は、町田典子さんが、平成元年から平成30年までに作られた中から300首を自選された短歌集です。令和3年4月に自費出版されました。町田会長から、「歌集ができたけん」と、この歌集を手渡されました。沓崎高校時代の恩師、西野國陽先生が選定された作品のなかから、3首、紹介させていただきました。これからも時々、掲載します。

※ 西野先生は、長崎県文化協会員で、全国的な短歌会へも参加されています。歌集 木漏れ日 出版 短歌指導で、沓崎にも来られています。

故郷は
風の島より
晴れて風
雨ふて風
人あれば風



西野先生と富士山



原の辻マスコット
キャラクター海都君



小島神社(諸吉南触)は町田典子さんの実家の近くです

※ 沓崎の風土を詠んだ歌の中から、一首目は、韓国に近い沓崎の地理、二首目は原の辻遺跡発掘作業の体験から実感した沓崎の歴史、三首目は気象条件に左右される沓崎の生活が的確に表現されている。

解説 西野國陽先生

歌集 山もも

より 町田典子

北風が運びて来たる漂着物隣国の文字おびただしきも
鎌先でそつと掘り出す弥生土器はるかな時代あしもとにあり
定期船の欠航告ぐる放送を風雨のなかに切れ切れに聞く

仲町 ご一行様

昔、金利が良かった頃、町内で旅行積立をして、貯まったら町内旅行をしていました。この写真は、宮地嶽神社参拝の記念写真です。ほとんどの世帯から参加があり、楽しかったそうです。よそ行きの

写真提供 たるや商店 様



昭和40年代

着物を着ての旅行など、今では考えられませんが、昭和50年に亡くなった祖母もいつも着物を着ていたような気がします。(着物と言ってもおろよかカスリ) 着物の懐から取り出したビニール袋の巾着の中から、小遣いをもらい、荒神社下の、湯の本のおばさんの店で、あめ玉やいもかりんとうを買っていました。



とっちゃんの
ひとりごつ

八日市で、駐車場横の橋に、子供が描いた絵が展示され、1年生になった姪の子の絵もあるということで、数年ぶりに行きました。八日市で思い出されるのが、カーネーション事件。30数年ほど前、赤木写真館下で、売ってあったカーネーションを母に買って帰り、流し台の前に飾り、毎日、せっせと水をかえていました。1カ月以上たったころ、「なかなか枯れんなあ〜」と言いながら、よく見ると本物とまちがえるように(まちがえました)よくできた造花でした。親子で大笑い。それからは、花は花屋さんで買うようにしました。



かわいいねえね
瀬伏小学校1年 中嶋恵那